



産経新聞

ノーサイドという言葉は、国民の日常語になった感もある。ラグビー用語を国語の中に定着させた日本代表チームの功績は大きい。今年の流行語大賞の有力候補かもしれない。

日派ではなく知日派と呼ぶのは、日韓関係の独特なアヤや距離感を示しており、すこぶる興味深いものだ。李氏は日本特派員の経歴があり、人脈もあるの

なのは、日本への過剰な批判や憎悪に偏せざる、普通に接してくる一般韓国人の存在ではないだろうか。その意味で知日派なる表現は分からなくもない。

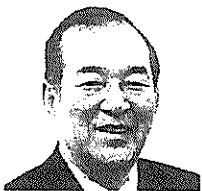
知日派に相当する言葉が韓国にあるのか否か詳らかでない。日本には朝のテレビ番組からイ

派という表現はいつも政治家や言論人の立ち位置や責任をあいまいにするのではないか。ひょっとして親日でも反日でもない日本通の立場をそう呼ぶとすれば、民主主義と複数主義の国・

決や慰安婦合意で問題を引き起こした事実にはタテマエとホンネを重ねている限り、李氏が知日派なる存在感を発揮できる余地は最初から限られている。

歴史の交差点

武蔵野大特任教授 山内昌之



他方、ノーサイドほどでないにせよ、一部で使われる「知日派」という言葉も興味深い。これは、即位礼正殿の儀で来日した韓国の李洛淵首相について使はしは使われる表現である。親

氏が親日派といわれたいのには、民間人だった当時ならいざしらず、韓国の政治家として親日派と呼ばれるのは、失脚にながる資質であっても美質では

日本では知中派と知米派という用語はまず聞いたこともなく、やや不自然な用法のように思える。使うなら、日本通や韓国通

という表現が中立的ですっきりする。あるいは親日派や親韓派というのでも分かりやすい。知日

性や優位性を発揮したわけでもない。政治家なら日本通であっても、微用工問題は1965

今後まず韓国政府や世論に会談した安倍首相の考えを正確に咀嚼して説明するか、文在寅大統領に日韓請求権協定の尊重を説得する点にかかっている。しかし、それは将来のノーサイドへの出発点に立つにすぎない。日韓関係のノーサイドは、ラグビーのルールよりも複雑に入り組んだゲームの終着点であり、たやすく実現されそうにもない。

「知日派」の矛盾と不幸

(やまうち まさゆき)